

第23回 聖路加看護学会学術大会

看護における「聴く・観る・伝える」技術

大会長：野末 聖香（慶應義塾大学看護医療学部）

会 期：2018年9月16日（日）

会 場：聖路加国際大学本館

プログラム

- 大会長講演 「心通う看護を支えるコミュニケーション
—アサーションがもたらすもの—」
野末 聖香（慶應義塾大学看護医療学部教授）
- 特別講演 「対人援助における共感の力：昔ながらの素朴な治療要因」
杉原 保史（京都大学学生総合支援センター教授）
- 教育講演 「こころのとらえ方に役立ついくつかのこと」
樋山 光教（東京医療センター精神科医長）
- シンポジウム 「“看護の技”としてのコミュニケーション」

 - ・ 学生のコミュニケーション力をどう育むか 佐居 由美（聖路加国際大学）
 - ・ 家族のこころの病気を伝える絵本を通して「安心」を届ける
細尾 ちあき（NPO法人ふるすあるは）
 - ・ がん当事者同士をつなぎ支え合う 馬庭 恭子（ウイメンズ・キャンサー・サポート、
広島市議会）
- ランチタイム・ミニ講座：「聴く・観る・伝える」技術を磨く（軽食付）

 - ・ アンガー・マネジメント 宇佐美 しおり（熊本大学）
 - ・ アサーション・トレーニング 福嶋 好重（横浜市立市民病院）
 - ・ マインドフルネス 佐藤 寧子（東京医療センター）
 - ・ 患者の感情表出を促すNURSEの実践 市川 智里（国立がんセンター）
 - ・ 患者のスピリチュアルニーズの理解とケア 柴田 実（聖路加国際病院
キリスト教センター）
- 口演・示説

 *参加登録・演題登録・ミニ講座の登録についての詳細は
大会ホームページで <http://slnr23.umin.jp/>

